

宇都宮市立星が丘中学校 第3学年 生徒質問紙

★傾向と今後の指導上の工夫 ○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

○「自分にはよいところがあると思いますか」という問いに対し、87%が肯定的に回答し、県や全国の平均よりそれぞれ4.1%、8.2%高くなっている。

○「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」という問いに対し、97.7%が肯定的に回答し、県や全国の平均を上回っている。

○「地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか」という問いに対し、72.2%が肯定的に回答し、県や全国の平均よりそれぞれ6.9%、12.9%高くなっている。また地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがありますか」についても全国の平均を上回っている。

●しかし、「今すんでいる地域の行事に参加していますか」の問いに対しては肯定的回答は38%であり、県や全国の平均よりそれぞれ10.4%、7.6%低くなっている。

○「数学の勉強は好きですか」「数学の勉強は大切だと思いますか」「数学ができるようになりたいと思いますか」などの問いに対する肯定的な回答の割合がいずれも県や全国の平均より高い。理科についても同様である。

○「数学の問題の解き方がわからないときは、諦めずにいろいろな方法を考える」「数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考える」などの学習の意欲に関わる項目が県や全国の平均より高くなっている。

●「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか」の問いに対しては肯定的回答は51.4%であり、県の平均より8%低くなっている。

●また、「家で学校の授業の予習・復習をしていますか」については肯定的回答は55.1%であり、県の平均より12.4%低くなっている

宇都宮市立星が丘中学校（第3学年）
学力向上に向けた学校全体での取組

★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

重点的な取組	取組の具体的な内容	取組に関わる調査結果
・言語活動の充実 ・振り返る活動の充実	・各クラス、特別教室に、話し合い活動用のホワイトボードを置き、生徒が考えを練り合う時や意見をまとめて発表するときに活用している。 ・授業の終わりや単元の最後に、学習課題に対する振り返りを行う時間をとり、ノートやワークシートにまとめさせたり、発表させる活動を行っている。	・「生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思うか」の問いに対しては肯定的回答は72.2%になっているが、県や全国の平均よりそれぞれ7.8%、4.1%低くなっており、まだ十分とはいえない。 ・「理科の授業で、観察や実験の進め方や考え方が間違っていないかを振り返って考えているか」の問いに対し65.2%が肯定的回答であり全国平均を6.2%高い。

★学校全体で、今後新たに重点を置いて取り組むこと

調査結果等に見られた課題	重点的な取組	取組の具体的な内容
学力調査結果からは数学・理科とも思考力に関わる問題の正答率が市や全国より大きく上回っているが、アンケートからは話し合い活動を通して考えを深めたり広げたりしていると回答する割合が低くなっている	授業の中で話し合い活動の場面を効果的に設定し物事を捉える視点や考え方を鍛えることで、生徒に考えを深めたり広げたりさせる	職員研修や授業公開ウイーク、教科部会などの機会を通して様々な指導方法を研究し、生徒の思考力の向上に役立つような言語活動や振り返りの活動が行われるように授業改善を図る。